

関東交運労協

第20回交通政策研究集会開催



6月23日(金)、東京・田町交通ビルにおいて開催され、関東地区本部組合員が参加しました。

主催者を代表して挨拶に立った上岡議長は「新型コロナウイルスにより行動制限されていたが、5月より次のステージに入った。交通運輸労働者にとってコロナの影響はとてつもなく大きく、今もなお影響を受けている企業は多数あるが、労働条件の回復と向上に努めていきたい。エッセンシャルワーカーの話題を最近はほとんど聞かなくなっているが、地位の向上と制度政策に反映していくためにも取り組みを強化し、7・8月に関東運輸局への要請行動があり、組合員に対してご協力をお願いしたい」と述べられ、その後、自動車総連粕谷政策局長より「カーボンニュートラルに向けた取り組みについて」の政策説明がありました。

その後の分科会では、鉄軌道部会・バス部会・ハイタク部会・物流部会・空港、観光部会に分かれ、JR連合組合員は鉄軌道部会に参加し、「鉄道の震災・防災・災害対策」「鉄道の安全」「鉄道における第三者暴力」「運賃制度」「地方鉄道の対策」「観光対策」「感染症対策」等、それぞれの議論がなされました。